

地区の路床改良や路側工に着手します。  
引き続き平成21年度に盛土工、平成22年度に舗装工や安全施設工を行い、平成22年度末の完成予定で推進していきます。

**千町川河川改修工事順調**

千町川河川改修は、西大寺五明付近から上流、瀬戸内市消防署までの約8、300mが暫定改修されています。

現在、消防署付近から県道瀬西大寺線と千町川が交差する岩崎橋までの、約900mの改修工事が進められています。

本庄工区は平成21年度完成の予定でしたが、1年前倒しの平成20年度完成を目指しています。

今後は、岩崎橋から上流、岩

鼻までの約1、200mの区間、大土井工区の早期着手を国に対して強く要望していきます。

**安全・安心なやさしさのある医療を目指して業務にまい進**

今全国で、これまで長年地域医療を支えてきた、自治体病院を中心とした地域医療が崩壊する危機性が高まってきています。

このような社会情勢の中で、瀬戸内市市民病院では、市民の病院として市民の皆さんに安心して医療を受けていただけるように、市内の唯一の入院施設を持つ病院としての役割を認識。一人でも多くの市民の皆さんに利用していただける病院を目指して、4月1日から、「市民に信頼される病院を目指して」という新しい理念の基、医療の質の向上、安全・安心な医療、やさしさのある医療を目指して業務にまい進しています。

**病院機能を整理統合しながら経営改善を進める**

本年4月から病院の全職員を



ナースステーションで仕事の引継ぎをするスタッフ

瀬戸内市市民病院に集約し、病院機能を整理統合しながら経営改善を進めています。

4月1日から、市民病院の病床数を、110床にするともに、医師や看護師を本院に集約して、総合的な診療を基本としながら、更に診療の専門分化も図っていきます。

なお、牛窓分院は、入院機能はなくなりましたが、外来機能は今までの診療体制を維持していきます。

**日曜・祝日の当番医と救急を受け入れる体制を整備**

日曜・祝日の救急医療に対応

ワークを構築。事業完了後も、地域が一体となった取り組みができるような、基盤の整備に努めます。

**瀬戸内市美術館・牛窓町公民館図書室の設計を業務委託**

牛窓支所の空きスペースを有効活用した美術館の開館や、牛窓町公民館図書室の整備について、基本設計・実施設計を行う計画です。

設計業者決定後は、これらの施設が「芸術文化拠点」「生涯学習拠点」「交流拠点」「観光拠点」としての役割を実現できるように、設計者と十分協議しながら、より良い設計を完成させていきたいと考えています。



瀬戸内市美術館・牛窓町公民館図書室の整備が予定されている牛窓支所

する当番医制度は、従来、市内の病院・診療所の2施設が順番で分担してきました。本年4月からは、市民病院が毎回その一つを担当することとし、検査・レントゲン・薬剤担当を配置して、日曜・祝日の救急患者すべてに対応できる体制を整え、受け入れを行っています。

**消防団協力事業所表示証の運用開始**

4月1日から瀬戸内市消防団に協力している事業所等に対して、消防団協力事業所表示証を交付する「消防団協力事業所表示制度」の運用を開始しました。

この制度は、事業所として消防団活動に協力することが、その地域に対する社会貢献として認められるものです。

本年度、瀬戸内市管内7事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付しています。

**救命士の複数乗車を目指して順次養成を行う**

救急出動には、常時救急救命士が乗車しています。救命士は、

資格取得後も薬剤投与・気管挿管の追加講習や病院実習など、かなりの実習期間を要しているのが現状です。  
しかし、今後も増加し続ける救急業務に対応すべく、救命士の複数乗車を目標とし、順次養成を行っていきます。



高規格救急車には常時、救急救命士が乗車しています

**教育委員会部局**

地域のネットワークづくりを踏まえた実践的な取り組みを行う生徒指導総合連携推進事業

いじめ、暴力行為、不登校、少年非行など、各地域や学校が

直面している児童生徒の問題行動の状況は、多様なものがあります。  
こうした状況を受けて、学校・家庭・地域住民や関係機関などが連携・協力し、児童生徒の健全育成に向け、地域のネットワークづくりを踏まえた実践的な生徒指導総合連携推進事業に取り組めます。

本市は、岡山県教育委員会から平成20・21年度の2年間の事業委託を受け、巨久中学校区を実施地区として指定することになりました。  
巨久中学校区の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校や関係機関が連携し、現在行っているさまざまな取り組み、例えば、あいさつ運動、市内行事やイベント参加、職場体験、ボランティア活動などを本事業に位置付け、児童生徒の健全育成を実現していきます。

この事業推進が契機となり、さまざまな組織や機関の連携がさらに深まり、「地域の子どもは地域で育てる」というネット

**第25回国民文化祭・おかやま2010が市民と協働で開催予定**

平成22年10月30日から11月7日の9日間、「第25回国民文化祭・おかやま2010」が県下で開催されます。

岡山県は、昨年6月に策定した基本構想を基に、分野別、事業名、開催市町村、事業概要などの国民文化祭実施計画大綱(案)をまとめました。

今年度中には、県実行委員会において決定した後、国実行委員会でも正式決定し、市町村においても市実行委員会を組織し、日程などの具体的な計画を詰める予定です。

本市では、美術分野で備前長船の名刀の魅力を全国で紹介する「備前おさふね名刀フェスティバル」、歴史文化分野で江戸時代に平和と文化の友好使節であった朝鮮通信使の歴史を再発見するとともに、韓国との文化国際交流を深めるため、「朝鮮通信使フェスティバル」を実行委員会を中心に、市民と協働で開催する予定です。